

(撮影:高石巧)

『注射ガンパロウネ』2004年
紙に油性マーカー 各383×543mm



木村 茜 Akane Kimura

1983年～ /滋賀県在住

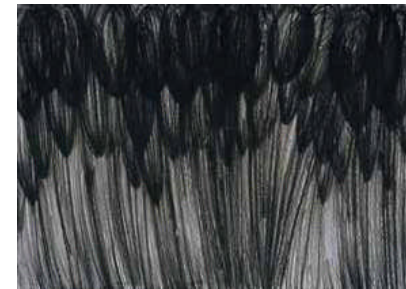
木村さんの絵はある日突然はじまりました。通っている福祉施設のアトリエを外からそっと見ていた彼女が、ある日ふらりとアトリエに入ってくると、何か不思議なカタチをいくつも続けて描き、プイと出て行ったのです。その後、アトリエのスタッフが様々な画材を置いて様子を見てみると、気持ち良さそうに何枚も描くようになってゆきました。使っているのは太い油性マーカーと濃い鉛筆です。マーカーは滑りが良くキュッキュッと音が出ます。また画用紙の端から鉛筆がはみ出す時には、コトンコトンとかわいい音がします。彼女はまるで音楽のリズムを楽しむように絵を描いているのです。また、彼女の絵の描き方はダンスのようにも見えます。腕の動きはまるで「振りつけされたダンス」のように、流れるようなひとつのスタイルとなってゆきました。

1枚の絵は約2～3分で一気に描き上げます。

「お線香花火」「うちわ」「注射ガンパロウネ」「緑のドレミ」「おかあさんのスカート」。それぞれに自分で名付けた題名もあります。その題名をつぶやきながら彼女の絵は、心もからだも本当に気持ちよくなって、自分だけの深いイメージ世界を泳いでゆくのです。

様々なデジタル情報があふれるこの社会の中であって、彼女が自分で考えついたこの「ダンスと音楽の絵」は、私たちに多くのことを気付かせてくれます。ここよい時間を、幸福な時間を、彼女はささやかに発明したのです。

『お線香花火』 紙に鉛筆
(上から順に)
2003年 380×540mm
2002-03年 383×543mm
2003年 380×540mm
2002年 382×542mm
2002-03年 382×542mm



木村 茜